

# 育てたコメ 味わって

西馬音内小  
6年生 宮城の会社へ寄贈



自分たちで育てたコメを大信田さん  
(左)らに手渡す西馬音内小の6年生

羽後町の西馬音内小学校

(高橋一枝校長)の6年生35

人が29日、訪問介護・看護事

業を展開する宮城県富谷市の

ジエー・シー・アイを訪れ、

自分たちで育てたあきたこま

ち50キを贈呈した。同社はサ

ービスを提供する高齢者に配

り、味わってもらおう予定。

栽培したコメのおいしさと

町の魅力を秋田県外に広めた

いと、修学旅行に合わせて宮

城県内での贈呈を企画。仙台

秋田県人会から紹介を受け、

秋田市出身の大信田和義さん

が社長を務める同社に提供す

ることを決めた。

児童を代表し、東海林綾菜

さんが「5年生の時に作った

あきたこまちで、甘みとうま

みがあります。どうぞ食べて

みてください」とあいさつ。

袋詰めして「レンジャー米」

と名付けたコメを大信田さん

らに手渡した。

受け取った取締役の小野純

さんは「宮城でもあきたこま

ちは有名。皆さんが大切に育

てた貴重なお米をおいちゃ

んやおばあちゃんに配って喜

んでもらいたい」と謝辞を述

べた。

(小松嘉和)